

教師ノート

日付	2016年 6月12日
単元	創世記・1
テーマ	創り主の愛
タイトル	大切なあなた
テキスト	創世記 1:26-31、2:4-7
参照箇所	エペソ 2:10、イザヤ 43:1-7、44:24、使徒 17:24-26
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	イザヤ 43:7

AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)

[小上3巻3題1課](#)、[小下2巻1題2課](#) [幼1巻10題1-5課](#)

□導入

興味を起す質問をしましょう。

例: ここに、2つの作品があります。ひとつは誰か他の人が作った立派で美しい彫刻の作品で、もうひとつは、あまり上手ではありませんが、私が心をこめて一生懸命つくった粘土細工です。私にとってどちらが大切だと思いますか？

□ポイント1 神さまは人間を造られました

👉メッセンジャーが理解しておくこと

創世記2章は、1章のように天地創造の順序を正確に記すことよりも、第6日の人間の創造(1:26-30)に焦点を合わせて詳しく説明する目的で書かれています。

まず、先週の創世記1章のメッセージを振り返り、6日目に人間が造られたことを思い出しましょう。神は必要な環境を全て整えてから、人間を造られました。これは赤ちゃんが産まれるとき、親が必要なもの(ベッド・服・おむつ・ミルク等)を、全て事前に準備しておく様子に例えることができます。人間は偶然にできたのではなく、神によって注意深く・計画的に造られたのです。

人は生物という点で他の被造物と同じですが、「いのちの息」が神によって直接吹き込まれたことにより、特別に造られたことがわかります。

👉「神が手で土をこねてどろ人形を造った」とは書いてありませんので、そのような表現を使わないように注意しましょう。

□ポイント2 人間はご自身のかたちに似るようにつくられました

神は、「神に似るように」、「神のかたちに」人間を創造されました。神の形に似る・・・とはどういうことでしょうか？それは姿かたちではなくて、神と交わりをもつことができる存在ということを示しています。神の御声を聞き、自由意志をはたらかせて神の御心を行うことができるように造られたのです。つまり、人間は、神を愛してみこころを行うようにつくられたのです。神の形に似るようにつくられたことは、他の生き物と人間との決定的な違いです。ですから、6日間の世界の創造において、人の創造はクライマックスであり、特別であり、神の栄光のあらわれなのです。(小上3巻3題1課、小下2巻1題2課参照)

👉「われわれ」という複数形の表現は、神さまが何人もいると言っているのではありません。原語では、威厳・尊厳を表すときひとりに対しても複数形を用います。また三位一体を暗示する複数であると考えられる学者もいます。神さまは唯一の神さまです。

□ポイント3 あなたは神さまにとって大切なのです

ここまでの説明で、人間が神に造られたということが、ハッキリとわかりました。ポイント3では、「あなたは神に造られたのだから、神に愛されている」というメッセージを伝えます。どのようなことばでも、メッセージャーが、最も真心を込めて語れるアプローチが最高の方法です。子どもたちに、神の愛を伝えましょう！

例1＝エペソ2:10から「あなたは神さまの作品です」と伝える。あなたは学校で何か工作を作ったことがありますね。他の人が作ったものと、自分が作ったものでは、どちらが大切ですか？どんな作品でも、造った人にとっては、それが一番大切に思えます。

例2＝マックス・ルケード「たいせつなきみ」(いのちのことば社)を一緒によむ。

例3＝イザヤ書43:7 暗唱聖句を読み上げます 「あなたは、神さまのすばらしさをあらわすために造られたのです。」「あなたが生きているということだけで、神さまのすばらしさがあらわれているのです。」ローマ1:20も参照。

例4＝あなたがボートの模型を作りました。心をこめて完成させて、それを川に浮かべて遊びました。しかしボートは川に流されて、あなたはそれを失いました。あなたは何日も何日も、一生懸命に探しました。そしてやっと、そのボートを拾った人を見つけました。しかしその人は絶対にボートを返したくないと言い張ったので、あなたは貯金を全部使って、その人からボートを買戻しました。神さまは、イエスさまの命の代価を支払って、あなたを買戻すほど、あなたのことが大切だったのです。

☞「愛されている」というコトバは必要に応じて「とても大切に思われている」と言い換えることもできます。

☞暗唱聖句は、必要に応じて、エペソ2:10、イザヤ43:4などに変更することができます。

□結論 神さまが造ったから、あなたの人生は尊いのです

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

神さまがあなたを造り、とっても大切と思っているのだから、人と自分を比べるの必要はありません。また、同じように、神さまはあなたの友だちや家族みんなを造り、愛しているのです。私たちの目で見ると、自分だけちっぽけに見えたり、他の人の人生の方がカッコよくみえたり、不公平に見えたりもしますが、みんな神さまにとって大切な存在なのです。ひとりひとりが、神さまの愛に応えて、造られた目的のとおり生きましょう。神さまのみこころを行ない、神さまのすばらしさを表す人になりましょう。